

カノラータ オーケストラ 第16回 定期演奏会



CANORATA ORCHESTRA THE 16th SUBSCRIPTION CONCERT

2017年

7月16日

午後1時30分 開場
午後2時 開演

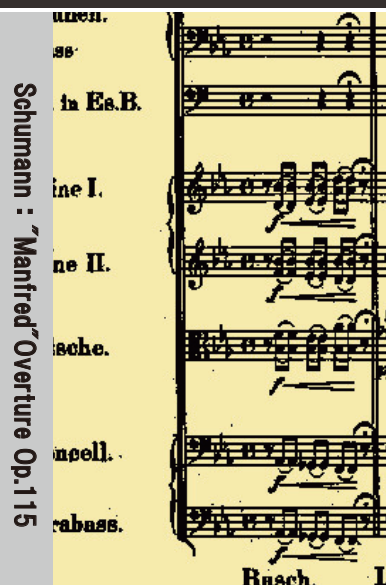
カノラホール
岡谷市文化会館

大ホール

指揮 鈴木 竜哉

過去と

シューマン
《マンフレッド》序曲
作品115



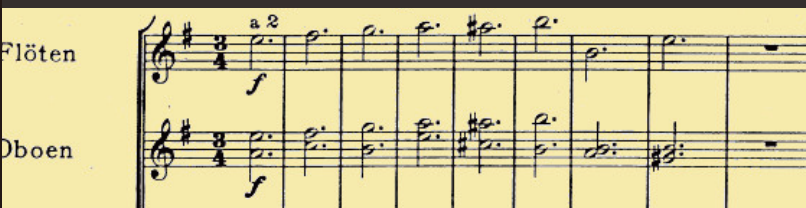
Beethoven : Symphony No.2 in D-major, Op.36



ベートーヴェン
交響曲第2番
二長調 作品36

未来をつなぐ一本の線

ブラームス
交響曲第4番
木短調 作品98



Brahms : Symphony No.4 in E-minor, Op.98

入場料

全席自由

一般 1,000円
小中高生 500円
未就学児 無料

■チケット取り扱い 4月9日(日)より販売開始

カノラホール(岡谷市文化会館)
窓口または電話予約 0266-24-1300
プレイガイド(裏面記載)
カノラータ・オーケストラ団員

■演奏曲目は、予告なく変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。
■本公演は小さなお子様も
ご入場いただけますが、他
のお客様のご迷惑とならない
ようご配慮ください。

お問い合わせ

カノラータ・オーケストラ事務局
岡谷市幸町8番1号(カノラホール内)
■電話 0266-24-1300
■ウェブ <http://canorata.net>

■主催
カノラータ・オーケストラ、カノラホール(〔公財〕おかや文化振興事業団)
■後援
岡谷市・岡谷市教育委員会・おかや音楽協会・諏訪市教育委員会・下諏訪町教育
委員会・茅野市教育委員会・富士見町教育委員会・原村教育委員会・松本市教
育委員会・塩尻市教育委員会・伊那市教育委員会・駒ヶ根市教育委員会

過去と未来をつなぐ一本の線

カノラータ・オーケストラ第16回定期演奏会は、19世紀の音楽を一本の線でつなぐ独創的なプログラムになりました。19世紀初頭に活躍したベートーヴェンによる古典様式の究極美にはじまり、シューマンが体現した文学と音楽の融合を経て、ロマン派音楽の頂点とされるブラームスの交響曲へ至る有機的な関連性をお楽しみいただきます。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)の交響曲第2番は、前代のハイデルンやモーツァルトの潮流を含みながらも独自の音楽語法が確立される過渡期の作品です。大胆な転調、オーケストレーションの改革、スケルツォの導入など実験性に富んでおり、彼が新しい交響曲の「形」を模索していたことが窺えます。また、随所から《第5交響曲》や《第9交響曲》を想起させる響きが聴こえてくるのも特徴のひとつかもしれません。

時は流れ、ベートーヴェン没後10年の節目に彼の生地ボンに記念像が建立されることになりました。発起人に名を連ねていたロベルト・シューマン(1810～1856)は、募金集めのためにピアノ独奏曲《幻想曲》Op.17を作曲します。本作の冒頭にはドイツ・ロマン派の詩人シュレーゲルの詩の一節が書かれています。かねてよりシューマンは、詩と音楽の融合を創作の理想としていました。シューベルトに続くドイツ歌曲の大家として言葉と音楽が紡ぎ出す「響き」を追求したシューマンですが、そんな彼が創作の集大成として完成させたのが劇音楽《マンフレッド》でした。英国の詩人バイロンが発表した同名の劇詩に基づき書かれた本作は、「忘却」を求めて彷徨う主人公マンフレッドの孤独な魂を雄弁に描いています。序曲は管弦楽のみで演奏されますが、これだけでも物語の激情的な展開を存分にお楽しみいただけます。

シューマンの《マンフレッド》が初演された1853年、彼はヨハネス・ブラームス(1833～1897)に出会いその才能を絶賛します。それから約30年後、作曲家として円熟期を迎えたブラームスは交響曲第4番を完成させます。この作品は彼にとつて最後の大規模な管弦楽曲となっただけでなく、ロマン派音楽の頂点を成す作品として音楽史に燦然と輝きを放っています。本作は、バッハの作品を引用し変奏させる古典的様式とオーケストラがうねるロマン派的特徴が見事に統合された作品であり、さらに近代の音楽を予見した近代性も内包しています。こうした近代性は、来たる新ウィーン楽派や Hindemith(1895～1963)、そして新古典主義と前衛との間で独自の多面的・多層的な音楽を書いたB.A.ツィンマーマン(1918～1970)へ脈々と繋がっていきます。

今回のプログラムは、ベートーヴェン、シューマン、ブラームスを一本の線でつなぎ、音楽史の文脈を辿りながらドイツ音楽の過去と未来を見つめます。それはカノラータ・オーケストラのこれまでの道程を振り返り、次のステージに歩みを一歩進めることにもなるのではないのでしょうか。

横浜生まれ。東京音楽大学付属高等学校トランペット専攻を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。在学中に安宅賞を受賞。指揮を佐藤功太郎、汐澤安彦の両氏に、トランペットを林昭世氏に師事。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団を指揮するほか、「のだめカンタービレ」の指揮指導や、アマチュア団体の指揮など幅広く活動している。

現在、マスターズ・ブラス・ナゴヤ音楽監督、一宮市消防音楽隊(愛知県)常任指揮者。カノラータ・オーケストラ常任指揮者。

鈴木 竜哉

カノラータ・オーケストラ

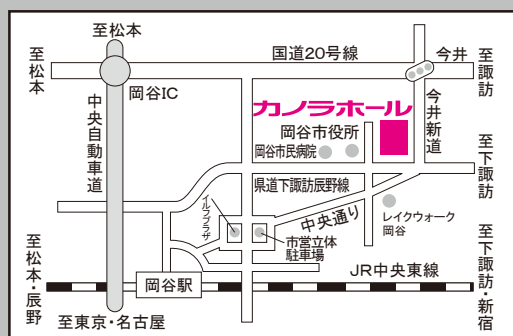
2002年に設立された、岡谷市を中心に活動するアマチュアオーケストラ。オーケストラ名は、カノラホルの「カノラ」と、イタリア語で「仲間」を意味する「カメラータ」を合わせ「カノラータ・オーケストラ」とした。昨年度は定期演奏会およびウィンターコンサートのカノラホール大ホールで開催し、好評を博した。また、岡谷市教育委員会主催「ホリディスクエア」や岡谷市民音楽祭にアンサンブル形態で出演するなど、地域に根ざした活動を積極的に行っている。団員は岡谷・諏訪・伊那・松本方面など、さまざまな地域から集まっており、お客様に楽しんでいただける音楽を目指して、日々練習に励んでいる。

プレイガイド

■岡谷市(0266)／笠原書店[本店] 23-5070
オグチ楽器 23-2189
北條楽器 22-5924
カネジョウ(イルフプラザ2階) 23-5533

■諏訪市(0266)／平安堂諏訪店 53-4545
■茅野市(0266)／ベレックLCV(ベルピア2階) 82-8181
■辰野町(0266)／共和堂新聞店 41-0065
■塩尻市(0263)／平安堂塩尻店 54-3211
■松本市(0263)／井上チケットぴあ(本店6階) 34-3655

アクセス



JR 岡谷駅から
徒歩 約15分
自動車 約5分



★ご来場の際、周辺店舗への駐車はご遠慮ください。